

# 第23回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成23年2月

応募者名:富山市都市整備部

事業の名称:市内電車環状線化事業

実施都市名:富山市

## 事業目的

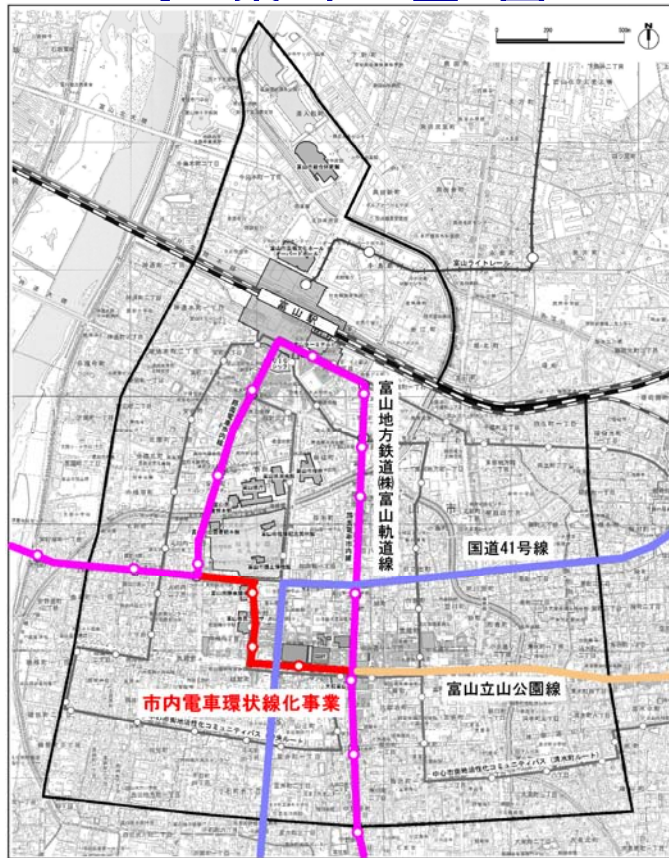
富山市では、今後の人口減少と超高齢化に備え、公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりを進めている。コンパクトなまちづくりにおける拠点整備を都市機能が集積した中心市街地で重点的に行うことが必要であり、市の中心部を走る市内電車を環状線化することにより、富山駅周辺地区と中心商店街周辺地区のアクセス強化、都心地区全体の回遊性と魅力の向上を図ることを目的としている。また、将来富山駅周辺の鉄道高架化にあわせ、南北の路面電車を接続することによる路面電車ネットワークの形成に大きく寄与する。

## 事業概要

事業名称: 市内電車環状線化事業  
路線名: 丸の内西町線外  
事業箇所: 富山市丸の内三丁目外地内  
事業延長: 約940m  
幅員: 27m~36m  
事業費: 約30億円  
事業実施期間: 平成19年~平成21年

本事業は、丸の内交差点から西町交差点の約940m間に軌道の新設し、既存の軌道と合わせて1周約3.4kmの環状線化を行った。新設区間は単線で整備し、停留場を3箇所設置した。あわせて、軌道施設と道路施設をトータルにデザインし、都心地区の顔をしてふさわしい魅力ある街路空間の形成を行った。今回整備した3路線はそれぞれの特性を活かした整備を行い、富山高岡線は城址と調和する和のデザインによる整備、大手モールはトランジットモールの景観形成、平和通りは都心のショッピングストリートとしての景観形成を行った。

# 事業位置図

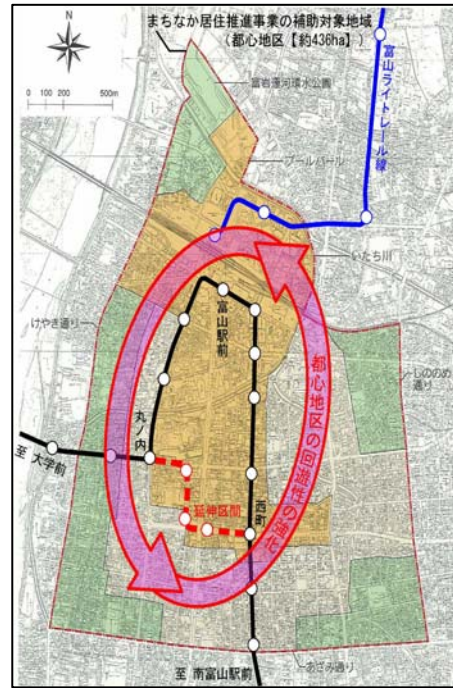
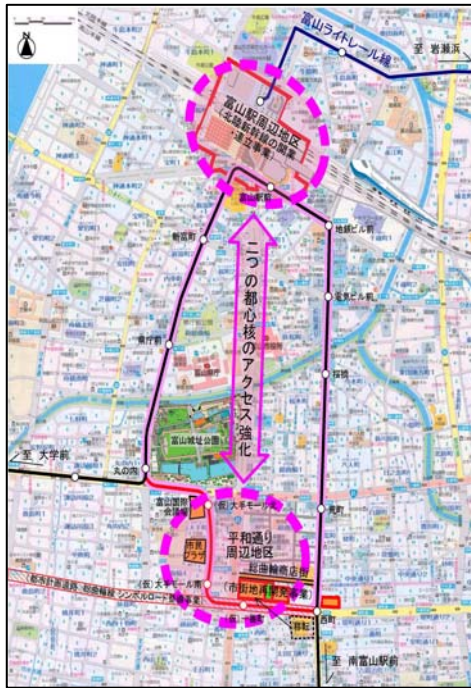


## 全体図(平面図・側面図・横断面図)





# 市内電車環状線化事業の整備効果アピール資料



## ○事業概要

事業名：市内電車環状線化事業  
 路線名：丸の内西町線外  
 事業箇所：富山市丸の内三丁目外地内  
 事業延長：約940m  
 幅員：27～36m  
 総事業費：約30億円  
 事業期間：平成19年～平成21年

環状線 月別1日平均乗降客数(平成22年12月末迄)



## 「整備効果」

新設した3箇所の停留場の1日平均利用者数は950人となっている。(平成22年12月末) 環状線開業後の市内電車全体の利用者数は7月末時点で前年比約11%増となっており、富山駅周辺地区と中心商店街周辺地区のアクセス強化、都心地区の回遊性の強化が図られ公共交通の利便性の向上と中心市街地の活性化に寄与した。また、軌道施設と道路施設をトータルにデザインすることにより、魅力ある街路空間の創出に寄与した。

## 「その他の事業効果」

整備後はイベントが行われるなど沿線住民によるまちづくりや地域活動の機運が高まりつつある。



トランジットモールをイメージして整備された大手モール。



大手モールの歩道で実施されているオープンカフェ。



地元住民が竹灯籠を設置して開業イベントを演出した。



地元住民によるまちづくり勉強会。

# 事業前写真



整備前の大手モール(南～北)

平成19年11月撮影



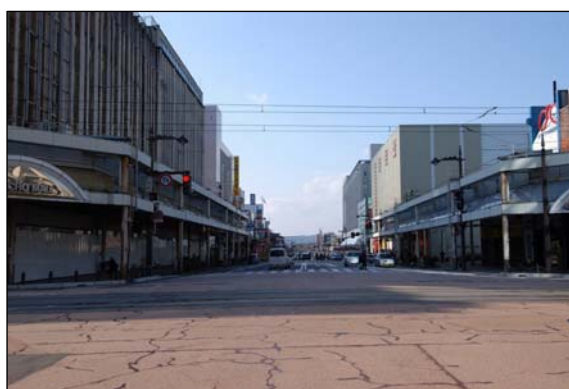
整備前の富山高岡線

平成20年1月撮影



整備前の大手モール(北～南)

平成20年1月撮影



整備前の平和通り

平成20年1月撮影



# 事業後写真



トランジットモールの空間に整備した大手モール

平成22年7月撮影



公園と歩道を一体的に整備した富山高岡線

平成22年4月撮影



開業式典では歩車道一体の大手モールの有効利用したイベントを行った。

平成21年12月撮影



ショッピングストリートとしての景観形成をした平和通り

平成22年4月撮影



地域住民による「街並みラッピング」の様子。車両にあわせたラッピングが行われた。平成22年4月撮影



通りを演出するハンギングフラワーとバナーフラッグ

平成22年5月撮影



大手モールの歩道で開催された越中大手市場

平成22年5月撮影